

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和4年 2月 3日

鹿児島竜谷学園幼保連携型認定こども園鴨池幼稚園

## 1 本園の目指す子どもの姿

教育目標：み仏さまを拝み、やさしさとたくましさをもつ子ども

キャッチフレーズ：たっぷりふれあい、じっくり考え、みっちり遊ぶ 鴨池の子ども

- ・み仏さまを拝む子ども
- ・感謝のこころをもつ子ども
- ・良く聞き、考える子ども
- ・友だちと助け合い、仲良くする子ども

## 2 本年度重点的に取り組む事項

まことの保育を実践し、一人一人の子どもを大切にしたい質の高い教育実践を目指す。

## 3 評価事項の達成及び取組状況

	評価項目	評価	取組状況
1	まことの保育を推進し、心豊かな子どもの育成を図る	A	毎月の主題を重点的に扱いながら保育実践に努めた。また職員の資質向上にも努めた。
2	教育保育の質の向上を図るために園内研修の充実を図る	A	年間研修計画を立て、テーマ研修や研究保育などの実践的な指導力の向上に努めた。
3	地域や保護者との連携を図り、地域に信頼される園づくりを進める	B	コロナ禍の中で工夫しながら地域との交流や保護者連携に努めた。

評価 (A・・・十分に成果があった。B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果はなかった)

## 4 総合的な評価結果

評価	理由
A	まことの保育を園の基盤としながら教育課程の円滑な実施に職員が一体となって取り組んだ結果、子ども一人一人を大切にしたい質の高い教育・保育を実践することができた。
	また職員研修や先進園での研修をとおして職員の資質向上に取り組んだことで、指導力や職責感の向上を図ることができた。
	更に園評価や保護者評価をとおして課題を明確にし、全職員で解決の方法を検討しながら課題の解決に努めることができた。

評価 (A・・・十分に成果があった。B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果はなかった)

## 5 今後取り組むべき課題

	課題	具体的な取組方法
1	感染症対策	感染症対策を徹底し、可能な限り行事や教育保育の円滑な実施に努める。
2	組織の活性化	園務分掌の業務内容を明確化し、職位に応じた職責感と実践力を育てる。
3	研修の充実	まことの保育についての理解を深め、指導の重点化を図りながら実践力を高める。

## 6 学校関係者評価委員会の総合評価

本年もコロナ禍の中での園運営に苦慮されたものと思う。今までになかったことを新しい視点で変えていくことは容易ではないと思うが、職員評価や保護者評価の意見を反映させつつ、よりよい鴨池幼稚園の創造に取り組んでほしい。

全体的に高評価を得られているので、課題として指摘を受けたところを改善して、職員間で情報の共有と情報の開示に努めてほしい。

多様な情報発信の手段としてSNSなどを活用していくのも面白いと思う。

子どもがのびのびと育っている鴨池幼稚園は素晴らしいと感じている。

